

# 後援会だより

## 首都圏父母懇談会報告

### 市ヶ谷キャンパス



副実行委員長  
鈴木 聖子  
（麻矢）キャリアデザイン学部

10月13日(日)市ヶ谷キャンパスにて、首都圏父母懇談会を開催しました。

今年は「『その先の自分を創る。』もつと身近に法政大学」と題しまして、大学協力のもと講演やパネルディスカッションなどを企画し、大変多くのご父母の皆さまにご参加いただきました。

学生による毎年好評のキャンパスツアー、2年ぶりの漫画研究会の似

顔絵プレゼント、薩埵ホールでの法政大学交響楽団ミニコンサート、学生の皆さんに協力いただき大盛況でした。その他、普段見ることのできない「沖縄文化研究所」の特別見学会や、スカイホールで富士山やスカイツリーを眺めながらの飲み物サービス、富士見坂校舎の学食有料体験を実施しました。

午後からは薩埵ホールにて、前半は上西充子キャリアデザイン学部教授より「賢明な就職活動に向けて」というテーマで講演いただき、後半に今回初めての試みとして上西教授、就職内定者4人とコーディネーターを囲み就職活動についてパネルディスカッションを行いました。学生の就活体験を聞くことができ有意

義な企画になったと思います。先生方や職員の皆さまのご協力により、キャリアセンターでは就職・学生生活の個別相談、各学部説明会、学科懇談会では活発な質疑応答により大学を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

最後になりましたが、父母懇談会に足を運んでいただいた会員の皆さま、法政大学と学生を応援いただいている皆さまに厚くお礼申し上げます。



学生スタッフによるキャンパスツアー



法政大学交響楽団のミニコンサート



就職内定者によるパネルディスカッション

### 多摩キャンパス



副実行委員長  
佐久間 貴子  
（選挙）社会学部

日ごろ学生たちが送っているキャンパスライフを実感していただけたのではないのでしょうか。

午後は、全体会や山本浩スポーツ健康学部長による「伝える力」スポーツ世界の見えない武器」と題した講演会、1・2年生対象の学部別懇談会、3年生対象の就職懇談会にも多数の皆さまにご参加いただきました。

父母懇談会の最後となる懇親会では、増田壽男総長や学部長の先生方

10月19日(土)多摩キャンパスにて、「見て！聴いて！実感！楽しいぞ、多摩キャン！」をキャッチフレーズに首都圏父母懇談会を開催いたしました。

始時刻にはあがつており、この日は学生による自主法政祭と同時開催ということもあり、多摩キャンパスは一日中、大勢のご父母の皆さまや学生たちで盛り上がりました。

午前中は、広大なキャンパスを職員ガイドが案内するバスツアー、学生スタッフとともに歩いてキャンパスを巡るウォークツアー、無料循環バスでの自由見学・スタンプラリーなどで、皆さまには多摩キャンパスを実際に体験していただきました。



受付



ウォークツアー



全体会

と気軽に話をしたり、学生団体「ニユーオレンジスウイングオーケストラ」によるジャズの演奏に自然とリズムをとっていらつしゃる方のお姿も見受けられ、終始和やかな雰囲気の中で、全てのプログラムを終えることができました。

遠方からご出席いただいたご父母の皆さま、ご協力いただきました大学の教職員の皆さま、誠にありがとうございました。

味はいかがでしたでしょうか？また、今年は「生協」による「法政グッズ」の販売が午前中に受付横で、午後には食堂ホールで行われました。販売には、あの有名な生協の白石さんがいらつしゃつたのをお気づきになりましたか？



副実行委員長  
博田 裕代  
（賞）理工学部

### 小金井キャンパス

10月20日(日)「新小金井キャンパスで、テクノロジを散策しよう！」

をテーマに首都圏父母懇談会を開催しました。当日は、雨が降るあいにくの天候でしたが、430人の方に参加していただくことができました。

午前中に、個別相談、キャンパス見学ツアー、マイクロ・ナノテクノロジー研究センター見学を実施、お昼には学生食堂の「生協」と「スエヒロ」で昼食体験ができました。お

午後からは、初めての企画として、理系ならではの「大学院進学パネルディスカッション」が行われました。

識しました。その後、学科別説明会が行われ、最後の懇親会では、学科ごとのテーブルで先生方との話がはずみ、実りある会になったようです。また、マンドリンクラブの演奏が心地よい調べとなりました。

多くの皆さまにご参加いただきましたこと感謝申し上げます。また、ご協力いただきました教職員の皆さま、ならびに関係者の皆さま、ありがとうございました。



3学部長によるパネルディスカッション



学科別説明会



マンドリンクラブの演奏

### 支部長懇談会および支部長会議 報告書



後援会副会長 支部委員会委員長  
さいとう のぶゆき  
齊藤 信幸  
(いりす/スポーツ健康学部)

11月8日(金)、9日(土)の両日、全国36支部の支部役員にご参集いただき、支部長懇談会および支部長会議が開催されました。

11月8日17時から、市ヶ谷キャンパスポアンナード・タワー26階の「スカイホール」にて開催された支部長懇談会では、千葉大一後援会会長のあいさつ、出席者紹介の後に、先に実施された支部長アンケート、参加者アンケートの集計結果についての報告と、本部役員および大学職員の出張報告などから、解決すべき課題があることが情報共有されました。

実際の支部活動紹介として、4カ所の支部長から発表が行われました。高知県支部からは今年度開催された支部の周年事業についての報告があり、高知県知事や県議会議員などの来賓をお招きし、プロ野球解説者で法政野球部OBの江本孟紀氏をゲストに迎えて開催された当日の様子についてお話しいただきました。

大分県支部からは、総会および父母懇談会の後に、校友連合会と共催の形で開催された「オール法政夏の集い」について報告がありました。学生のUターン就職への支援などもあり、後援会と校友連合会との連携は今後も続けていきたいという役割を押し付けた上で、会のあり方については今後とも検討をしていくとお話しました。

長野県支部からは、広い県であることを考慮して、総会および父母懇談会を長野と松本の交互で開催し参加者の利便を図っていることや、菅平で毎年ラグビー部の夏期合宿中に行われる試合応援についてもお話がありました。

最後に、来年度周年事業を開催することになる広島県支部からは、企画中の素案を紹介する形で報告があり、後援会支部として周年事業のあるべき姿について一石を投じるプレゼンテーションが行われました。

また、各支部から要望が多く出ている後援会

OB親睦組織の設立については、首都圏で活動している後援会クラブの会長以下役員5人にもご出席いただき、池上会長からの紹介をしていただきました。

翌日の9日は、10時より同じく「スカイホール」にて支部長会議が開催されました。千葉会長のあいさつの後に、増田青男総長が登壇され、法政大学が現在進めている大学のブランドデザイン活動を中心に、今後の大学の教育改革の取り組みなどについてお話しいただきました。続いて、議事が以下のような流れで進められました。

- 2013年度支部総会・父母懇談会の総括と課題共有
  - 2014年度支部総会・父母懇談会の日程について
  - 校友連合会との連携について
- 特に、各支部の総会および父母懇談会の総括と課題共有に関しては、支部委員会委員長より参加者全員に対して、解決すべき課題があるとの問題提起を行いました。支部役員も多くが熱心にメモを取られていたのが印象的でした。
- 議事終了後は、ブロック別に6カ所に分かれて、グループ別懇談会が行われました。本部からの問題提起について、それぞれの支部の実情や悩み、要望など、活発な意見交換が行われ、大変有意義なものとなりました。
- 今後とも後援会本部では、支部委員会を中心に、それぞれの支部活動のあり方について頭在化した課題を一つひとつ解決しながら、後援会活動の発展に貢献して行きたいと考えておりますので、皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。



### 学部長・後援会懇談会報告



総務  
つるまき よしひさ  
鶴巻 義久  
(都馬/グローバル教養学部)

11月9日(土)市ヶ谷キャンパスで「学部長・後援会役員懇談会」が開催され、全国36支部86人の支部長、学部長、および徳安常務理事にご出席いただきました。後援会本部からは千葉大一会長以下、多くの役員が出席いたしました。懇談会では、懇談会において寄せられた総会・父母懇談会について、今回ご出席の学部長の皆さまにお答えいただきました。主な内容は以下のとおりです。

1. 今年の重点取り組みと、今後の取り組み予定について(対象:法、経済、社会、経営学部)

いずれの学部もカリキュラム改革、セメスター制の導入、クオータ制の検討などを行っている。ほか各学部の重点的な取り組みは次のとおり。法学部:初年度の専門教育と、4年間をとおした教養科目の拡充。経済学部:少人数教育のさらなる推進。ゼミの少人数化、学部主催のディベート大会、研究報告会、プレゼン大会などの開催。社会学部:2014年度から卒業所要単位数削減。経営学部:成績不振者の学部長面談。通学の習慣化が困難な学生には生活指導の実施。

2. 学部学生の特徴について(対象:現代福祉、人間環境、キャリアデザイン、情報科、生命科学部)

現代福祉学部:あらゆる面で学生たちの問題意識が高いこと。人間環境学部:積極的なアクティブラーニング、フィールドスタディに取り組みしていること。キャリアデザイン学

3. 学生は希望の会社に就職するため、どのような取り組みが必要なのか?(対象:文学部)
4. SA留学中の法政大学への学費支払いについて(対象:国際化学部)
5. クォーター制の導入成果はどうか?(対象:デザイン工学部)
6. 学部の体制・就職と創生科学科の大学院進学の見直しについて(対象:理工学部)
7. 文部科学省のグローバル人材育成推進事業に採択されたが、進捗状況と成果について(対象:大学)
8. 大学院設置予定について(対象:スポーツ健康学部)



東海支部支部長  
やまだ まもる  
山田 護  
(佳輝/文学部)

のぼり旗10本、私達の活動はここから始まりました。駅伝大会では、のぼり旗の数が応援の出来を判断する一つの目安となります。東海支部の保有するのぼり旗は10本、役員数も僅か。その体制で来る全日本大学駅伝の応援をどう行うか。

その解決策として考えられたのが「オレンジプロジェクト」でした。

この企画は「オレンジ色の物を何か身に付けて応援に参加しよう」と呼びかけ、一掃になつてのぼり旗を持つて応援をする、というものです。

この呼びかけに後援会本部からののぼり旗120本の支援を受けることとなり、合計130本ののぼり旗で応援を開始。当日は、スタートの熱田神宮西門に後援会関係者30人をはじめ、地元の校友連合会、関東から駅伝友の会の方々も続々詰めかけ、にぎにぎしくスタート。

続く各中継所には26人、ゴールの伊勢神宮内宮には25人、総勢81人の体制で応援を繰り広げました。

特に各中継所では、東海支部のスタッフが沿道の人達に「法政大学の応援ですか」と声を掛け、一緒にのぼり旗を持つて応援し、沿道の多くの人から「楽しかった、また法政を応援するよ」と声をかけていただきました。

8区間106.8キロメートルで争われた駅伝大会、それぞれ応援する場所は違つても選手を思う心は皆同じ。

沿道の人達の温かい心に支えられながら、選手は襷を、私達は心を繋いだ、そんな駅伝応援となりました。



沿道をオレンジ色に染めて、法政スポーツを盛り上げよう!

### <箱根駅伝応援のご案内>

法政大学後援会 スポーツ応援隊では、2014年1月2日、3日に開催される第90回箱根駅伝の応援を企画しています。皆さんと一緒に、沿道をオレンジ色に染めて選手たちに熱い声援を送りましょう。

応援場所は大手町～箱根の各所にあり、法政大学のオレンジのぼり旗が目印です。詳しくは、法政大学後援会ホームページをご覧ください。<http://www.hosei-koenkai.org/>



◎日時: 2014年1月2日(木) 8:00 大手町スタート(往路)  
2014年1月3日(金) 8:00 芦ノ湖スタート(復路)

◎応援場所(予定): 大手町、蒲田、生麦、横浜駅、大磯、小田原、箱根、その他